

広報 入善にゆうぜん

No.314

昭和58年10月1日発行
毎月1回 1日発行
発行所 入善町役場
富山県入善町入膳3255
☎0765-72-1100(〒939-06)



10月号

さあ、新しいスタートだ!!

祝／合併30周年記念

(写真は入善高校の体育大会から)

合併30周年を祝い

1日、記念式典を挙行

米沢滋氏(元電々公)を

名誉町民に推戴

今日1日は、入善町が昭和28年10月1日に大合併してから、ちょうど30年目にあたる記念すべき日です。

町ではこれを祝って、1日午前9時15分から下記の日程で、30周年記念式典を行います。

記念式典では、本町の発展に大きく寄与された元電々公社総裁・米沢滋氏(東京都在住)を名誉町民に推戴し、全町民をあげて、氏の業績に対し感謝の意を表したいと思えます。

また、この席上において、町政に尽力されたかたがた14名と、町の産業経済活動に貢献された3企業を特別表彰します。

特別表彰者

(50音順・敬称略)



▲名誉町民に推戴される米沢滋氏。

氏の略歴

明治44年2月1日、故米沢与三次氏の長男として出生され、昭和8年東京帝国大学工学部を卒業後、逓信省に奉職。昭和52年1月、日本電信電話公社総裁の重責を最後に退職するまで、多大の貢献をされました。

この間、その温厚な人柄と尽きることのない郷土愛の精神により、多くの町出身者を電々公社に登用、人材育成にも多大の尽力をされ、町民から深く尊敬されております。

■自治振興

上野 幸一(入膳・64歳)

笹島 太一(笹原・60歳)

田原 吉郎(入膳・76歳)

米沢 甚吾(入膳・84歳)

清田 清一(芦崎・71歳)

■教育

■福祉

長島啓太郎(柗山・78歳)

優良企業表彰

・新和工業株式会社

・東洋紡績株式会社入善工場

・富山日本電気株式会社

■産業経済

青木 庄一(荒又・69歳)

青木 善治(荒又・66歳)

扇原 久一(柗山・71歳)

中林佐一郎(新屋・80歳)

米沢 直次(入膳・74歳)

■保健衛生

谷 雪枝(古黒部・74歳)

合併30周年

記念式典



■期日/10月1日(日)

■名誉町民推戴記念植樹

午前9時15分/庁舎前

■町民憲章碑除幕式

午前9時30分/庁舎前

■記念式典・名誉町民推戴・特別表彰

午前10時/福祉会館ホール

町のあゆみ展



■期日/10月1日(日)~7日(金)

■会場/福祉会館1階ロビー

■内容/入善の先駆者

ふるさとの今昔

農業の移り変わり

町並みの移り変わり

など、写真やパネルを使って展示。

あなたにとりついでに30年は……



新生入善町として産声を上げたのは、ちょうど30年前の昭和28年10月1日。この間における町の足跡は、決して平坦ではなかったはずです。合併直後の財政事情の悪化から、昭和31年から約8年間にわたって、「財政再建団体」という苦い経験を味わいました。しかしその後、いち早く基盤整備事業を初めとする数々の生活環境改善に力を注ぎ、私たちの生活は一変しました。

さて、あなたにとつてこの30年はどうだったでしょうか。各地区一人ずつ、10人のかたにインタビューしてみました。

町と同じ年齢



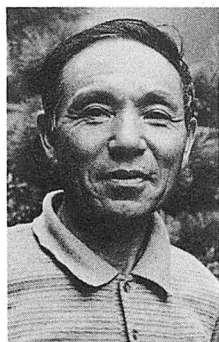
宇奈月町役場勤務
池田明美さん
(古林・30歳)

今年2月で、ちょうど満30歳になりました。ということは、町と私は、常に同じ歩調をとっていることになりますね。そう思うと、「のんびりやっておられないな」と痛感します。

物心ついた10歳前後は、テレビや掃除機、冷蔵庫などが一般に広く普及しかけた頃でした。そして

あの当時「車なんかとても」と思っていたのが、現在は各家庭に2・3台が普通になりました。自分の子どもが30歳を迎える時、「世の中がどう変わっているのか」と想像するだけで怖い気がします。物が豊富すぎる現代、「苦勞して物を手に入れる」ということを、子どもに伝えていきたいと思えます。

きれいな海に



漁業(元漁労長)
池原義雄さん
(芦峰・62歳)

30年前なら、北海道釧路で来る日も来る日も、鮭鱈やマグロを追いかけていたな。あの頃、漁獲量や操業区域制限もなく、まして200カイリ規制もない。船からこぼれるくらいに獲りまくった。若かつたし、毎日が楽しかったモンだ。

20年間の遠洋を止めて、7年前から飯野定置網漁に加わっておる

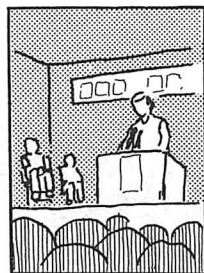
が、ここ4・5年は全然ダメだ。沿岸漁業の不振は、「海底汚染」が原因だ。汚染で海藻が生えなくなるため、魚が寄り付かない。今後も続けば、漁場は死んでしまうだろうな。

「洗剤や農薬などの使い過ぎが、いかに海を汚すか」を、我々もっと考えなくては……。

「緑と土と生活」

を考える

シンポジウム



■日時 / 10月16日(日)

午後0時30分～5時

■会場 / 福祉会館ホール

■主催 / 黒部川扇状地地域社会研究所

■内容 /

(1) シンポジウム

① 講演

「黒部川扇状地の地下水とその利用」

筑波大学教授・榎根勇氏

「農工一体化」

文教大学助教授・北林吉弘氏

「土と農業」

県農業試験場長・熊野誠一氏

② 映画上映

「吉原沖海底埋没林」

NHK製作の16ミリ映画

(2) 特別講演

「これからの米と食生活」

評論家(俳人)・楠本憲吉氏

■総合同会 /

文学博士・籠瀬良明氏

つくる観光を



新和工業勤務
浜木裕子さん
(八幡・22歳)

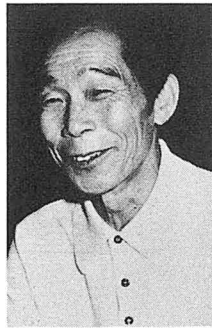
「30年」といっても私はまだ22歳で、この紙面に出るのはおこがましいんですけど、つい最近あつたことを話します。

8月のミス織姫コンテストで準ミス・西瓜娘に選ばれ、ごほうびに大きなジャンボ西瓜をいただきました。そして、8月末に立山室堂で、県内のミスがチューリップ

球根とナシを登山客に無料サービスし、「富山県にまたお越しください」とPRしてきました。

ジャンボ西瓜の知名度は高いでしょうけど、もっと大々的な宣伝が必要なのは……。現在の町の観光は消極的な感じがします。今は「つくる観光」を心がけてほしいと思います。

町を花いっぱい

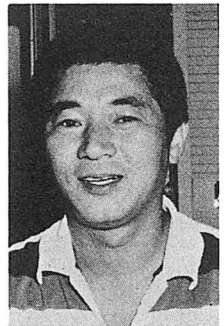


小川建設工業勤務
中山正平さん
(墓ノ木・68歳)

約25年間勤めた県経済連を昭和45年に退職した私は、縁があつて新設時のフラワーセンターで1年間、花卉の植栽を担当しました。もともと花が好きだったこともあり、着任と同時に「よし、町を花でいっぱいにするんだ」という意気込みで花の栽培・管理に取り組んだものです。

最近、田んぼのあぜに花を咲かせている農家も多く、こんな小さなことでも全町に広がれば、素晴らしいことだと思います。合併20周年の48年に全戸配布されたこぶしも、今は屋根まで届くようになり、今後も大事に育てたいですね。「春を呼ぶ町木こぶしの白き花」世代を継ぎ咲く続くらん

魚津を追い越せ



松原工務店経営
松原正昭さん
(入膳・34歳)

一世の親父たちが築き上げた商店街も、最近、新進気鋭の精神が失われつつあるようです。かつて「泊に追い付き追い越せ」という意気込みで取り組み、実際に追い越してしまつた。しかし、それに満足してはいけないと思います。商店街が発展するには、我々若い衆が一致団結して踏ん張らな

ければならないし、同時に道路網の整備など行政指導も、これまで以上に必要なんです。商工会青年部では、「魚津に追い付き追い越せ」という目標を立てました。これから30年後の入膳商店街が「新川で一番繁盛している」ことを念頭に、精いっぱい頑張りたいと思っています。

健康な入善に

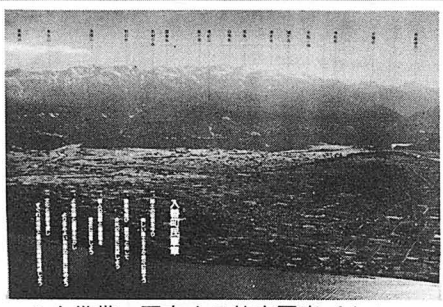


農業
宝田一枝さん
(上野・49歳)

高齢者の体力づくり、婦人健康体操のリーダーとして、既に7年余り経ちました。高齢者のかたの顔を見ていますと、高齢とは思えないように生き生きしておられ、週1回の体操が本当に楽しみのようです。運動だけでなく、人びととのつながりが、いかに健康に役立つかを、身をも

って体験されます。そう、私の30年(まだまだです)が)とは、「スポーツとの付き合い」と言ってもいいくらいです。あと10年ぐらいいは現役でやれるでしょうが、若い人たちにもどんどんリーダーになつてもらいたい。県下一の健康な町でありたいと思っています。

航空写真をプレゼント



▲全世帯へ配布する航空写真パネル

合併30周年を祝い、全世帯への記念品として、北アルプスの航空写真をプレゼントすることになりました。初冠雪の北アルプスをバックに、入善平野をほぼ一望できるカラー写真で、これに山々の名前や、先般制定しました町民憲章を印刷したものです。これを、タテ45センチ、ヨコ65センチの木製パネルに張つて表装し、部屋のインテリアとしても使つていただけたらと思います。なお、各家庭には今月中旬まで届くように準備しています。

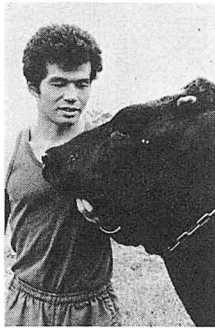
地域福祉に携って



舟見寿楽苑寮母
芹沢芳枝さん
(舟見・47歳)

お年寄りの食事、入浴、排せつ、看護など、身の回りのお世話をするようになって5年余り。この間、入居者も50名から100名に倍増しました。平均年齢79歳のお年寄りにとって、私たち寮母の手助けが必要なのはいうまでもありませんが、衣食住だけで足りるものではありません。彼らが本当に欲しがっているのは、話し相手なのです。幸い、地域の人たちが慰問に訪れたり、つい先日舟見中学校の生徒さんが似顔絵描きにきました。県の最東部にできた寿楽苑が、地域福祉に役立つ一方で、こういった福祉ボランティアの精神が育ちつつあることを喜んでいきます。

駆け出しだけど...



酪農経営
長谷川 敦さん
(小摺戸・27歳)

黒東中、魚津高校を経て、北海道の帯広畜産大学で4年、そしてむこうの農家で1年間、酪農を勉強してきました。小さい時から動物が好きだったし、北海道の牧歌的な自然に憧れていました。サラリーマンにはなりたくなかったし。故郷に帰って3年余り、酪農の面白さ、楽しさが少しずつわかりかけてきた反面、厳しさもそれ以上と感じます。入善町の酪農の歴史は30年以上。それに比べると、僕はまだまだ駆け出しだし、先輩に教えられることがいっぱいあります。また、町内の若い仲間と情報交換しながら、もつといい乳がとれるよう、精いっぱい頑張ります。

球根一筋に...



球根組合入善支所長
青木 顕吉さん
(荒又・44歳)

高校卒業と同時に農業を受け継いだ私は、2年後開設されて間もない球根組合に勤めました。それから約30年間、球根一筋に生きてきた一人として思うことは、「積雪寒冷単作地帯だった入善町が、よくここまで複合農業に移行できたもんだ」ということです。球根を例にとつて言えば、昭和28年当時、123戸の農家で2.8畧栽培していたものが、現在90戸で52畧と、面積が飛躍的に伸びました。入善町の主な農産物といえば、水稻、酪農、球根ですが、この適地適作物をうまく相互にかみ合わせれば、今後も伸びる可能性が十分です。そのためにも、後継者づくりが最も大切だと思います。

俳句に託して



農業
本田照子さん
(木根・41歳)

20年前のある日のこと、木根若妻会で「俳句の手ほどきを」ということで学習会を持ちました。その時、講師にお招きしたのが、現在、俳誌「荒海」を主宰しておられる船平晩紅先生でした。この日から俳句に興味を持ち、俳句教室「春潮会」に加わり、また「荒海」にもこれまで150句ほど投句しました。忙しい一日が終わった夜のひととき、子どもや農業のことなど、日常の些細なこと、気持ちを俳句に託す……たったこれだけのことが楽しく、心の支えなんです。いい先生や仲間にも恵まれ、これからもずっと続けていけたら、と思っています。

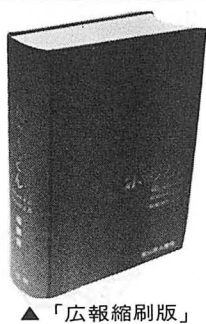
「30年のあゆみ」を発行

今月1日、「30年の町のあゆみ」を広報特集号として発行しました。「町のあゆみ」と「社会の動き」の主だったものを、B5版、28ページにまとめたものです。



「広報縮刷版」は10日過ぎに

「広報縮刷版」がもうすぐ刷り上がります。予約注文されたかたには、今月10日過ぎにお届けする予定です。なお、代金2千800円は品物と引き換えにいただきます。



▲「広報縮刷版」

収入役に宝田氏

森教育委員は再任

9月定例町議会最終日の9月22日、10月8日に任期満了となる収入役、教育委員1名の人事案件が提案され、宮腰由則収入役の後任に宝田幸雄企画財政課長を選任、森教育委員（教育長）を再任することに、それぞれ議会の同意を得ました。

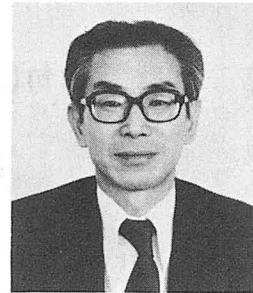
収入役

宝田幸雄氏

(昭和5年3月19日生)

入善町上野1722

町企画財政課長



教育委員会委員

森 栄氏

(大正14年1月12日生)

入善町入膳5050

町教育長



7点が県展へ

小・中学校科学展



▲力作ばかりを集めた町科学展

入善町小・中学校科学展が、9月9日から12日まで中央公民館で開かれました。
科学展は、子どもたちが夏休みに、観察、研究したものや、工夫

あれっ!?!この立て札は何？



▲入膳市街地に復元された「高札」。

明治の「高札」を復元

教育委員会は9月5日、明治新政府太政官の「お触れ」を模写復元して、入膳市街地に立てました。

復元された場所は、寺田川がちようど中町商店街に差しかかる若草食堂横の水路上で、かつて一般に「高札橋」と呼ばれたところ。
高札は、明治3年に太政官から出された「市中掲示」で、内容は、「街中で乱酔放歌し、物に触れ、人の往来を妨害し、刀で人を脅し、動物を斬殺するなどの乱暴を働くものがいたら、これを取り押さえ、刀を取り上げ、最寄りの取締所へ届けよ」というお触れ。
高札板は、幅70センチ、縦45センチ、全長1.8メートル。下には高札橋のいわれも解説してあります。
教育委員会では、「町が年々都市化していく中で、由緒ある古い地名が忘れ去られている。こういった復元がその歯止めになれば」と話しています。

おめでた



住所	保護者	続柄	名前
舟見	山本治樹	長男	優作
高島	石塚均	三男	翔
八幡	尾山栄収	長女	沙樹
芦崎	井田克彦	長女	智子
小摺戸	寺林賢治	長女	夏樹
上野	荒田則之	長男	亮輔
舟見	吉田正	二男	伸
目川	杉沢秀樹	長男	由浩
入膳	中川健二	長男	智史
荒又	小沢俊次	二男	誠
小摺戸	小路清一	長女	真紀
櫛山	中島一明	長男	直樹
入膳	上田敏博	長男	徹也
野中	草野和行	長男	敏行
芦崎	神戸高広	二男	広宣
舟見	愛場秀孝	長女	由紀子
舟見	戸出孝嘉	長女	有香
上野	宝田勝	長男	誠
一宿	秋元政典	長男	銀河
小杉	西嶋克巳	二女	清夏
入膳	小松政直	長男	祐亮
小杉	前田則男	二男	卓也
青木	松田富明	二女	奈々
入膳	三日月健	長男	吉陽
若栗新	城崎志郎	長男	真志
青島	青島正秋	長男	弘明
芦崎	浜田孝	二男	直樹
吉原	大野誠	長男	将伍

を凝らした標本、工作、模型などを展示するもので、各校から選ばれた183人の141点が出品されました。審査の結果、上青小学校1年・山本州平くんの作品など7点が県科学展に出品されます。(◎印が県出品作品)

▼小学1年：◎山本州平(上青) 倉田咲子・秀和(飯野) 谷川亮、中易友伯(黒東) 坂東大士(桐山) ▼2年：◎金森保雄(野中) 田中文健、田中康博(入善) 松沢美穂(上青) 竹屋まき(飯野) 君島出(桐山) ▼3年：◎松原志穂(上青) 伊野美穂子、伊野志保子(飯野) 谷口博邦(桐山) ▼4年：天野美穂、田中大士(入善) 高村茂樹(上青) 長田真美、松原涼子(飯野) 谷川麻理、西島司(黒東) ▼5年：中田光昭、稲村拓也(入善) 草切幸(上青) 竹屋幸信(飯野) 鍋島昌美、高島由紀、後藤啓子(黒東) ▼6年：◎杉本みどり、早川弥生(黒東) 松田陽子(入善) 伊野清人(飯野) 真岩優子(横山) 徳光志郎(舟見)

▼中学1年：◎木本英理子・桐山あずさ・松島郁代の合作(入善西) 青木ひとみ・茂田博子・米田真由美(入善) ▼2年：大野恭子・高森直美・金森美保子、松沢香織・松本真由美・吉沢ゆかり(入善西) 飛田真由美・小林たみ子(入善) ▼3年：◎小林友幸、瓜生俊之(舟見) 高橋昌美(入善)



案内

開通前の北陸自動車道で秋の一日を……

合併30周年記念

合併30周年を記念して、開通前の北陸自動車道で、次の行事を行います。自動車道が開通すれば、2度とこんなチャンスはありません。ぜひ参加してください。

歩こう会と写真撮影会

▼期日：11月3日(文化の日)
▼時間：午前8時30分まで運動公園集合、正午解散▼コース：神林パーキング→黒部川橋(折り返し)→入川→神林▼対象者：どなたでも参加できます▼その他：運動のできる軽装で。写真撮影される人は、カメラを持参してください。

たこ揚げ大会

▼日時：11月3日(文化の日) 午前9時～11時30分▼会場：北陸自動車道神林パーキング▼対象者：どなたでも参加できます(親子歓迎)▼申込み：10月20日(木)まで社会教育課☎72-1100内線66番▼資格：たこの大きさ、形は自由ですが、手作りのものに限ります(既成品は不可)。

県内一周駅伝

10月29・30日に

置県百年を記念した「県内一周駅伝競走大会」は、10月29・30日の2日間にわたって、晩秋の越中路上にさわやかな駅伝ドラマを繰り広げます。

一部山間地を除く28市町村を網羅した275・4キロ、78区間のコースです。16郡市対抗で、中学生が半数の39人、高校生や一般、ママさん選手ら幅広い選手構成も、駅伝史上初めての試みで、全国の自治体からも注目されています。

入善町からは、山本良治さん(舟見・45歳)ら47人(補欠7人)が下新川チームのメンバーに加わっており、活躍が期待されます。

▼コース予定及び時間：10月29日・県庁前9時出発→魚津→黒部→入善→宇奈月→立山町役場15時15分到着予定。10月30日・立山町9時出発→砺波市→県庁の予定。▼入善町区間通過予定時刻：10月29日・神子沢バス停・11時24分、入善町農協入善支所・11時37分、桐山新公民館・11時45分、入善町農協舟見支所・12時31分

おはようサイクリングの県大会が入善で

おはようサイクリングの県民大会が入善町で開かれます。すがすがしい朝のひととき、親子で参加

してください。▼期日：10月23日(日)(雨天の場合10月30日)▼集合場所：中央公民館前▼目的地：墓ノ木自然公園▼参加費：200円▼持参品：昼食、雨具、タオル、手袋、帽子など▼行事：表彰式、ウォークラリーゲーム、ぐみ取りなど▼日程：午前9時30分集合、午後2時30分現地解散

PTA教育無料相談

▼日時：10月6日・20日午後5時30分～7時30分▼場所：福祉会館2階会議室▼相談内容：6日・進路と学習、20日・学習と生活。



募集

レクリエーション教室の受講者を

「あなたもレクリエーション指導者に」その養成がこの教室です。私たちの町にレクリエーションの輪を広げ、楽しい町づくりの担い手になりましょう。なお、この教室は富山県レクリエーション協会公認指導者検定のための単位を取得できます。▼期間：10月7日～12月9日▼曜日・回数：金曜日・10回▼時間：午後7時30分～9時30分▼会場：中央公民館▼受講料：1千円▼定員：25名▼申込み：10月6日まで中央公民館へ☎72-1100内線69番

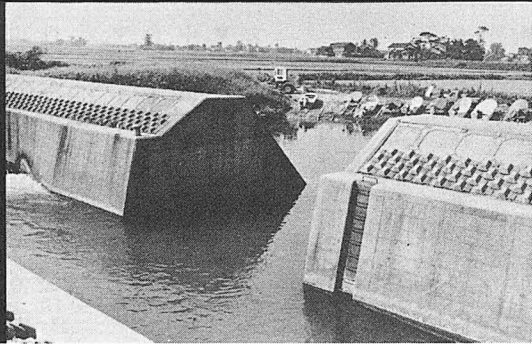
小摺戸	寺林邦雄	二男	潤
桐山	本多直樹	長女	愛
道古	大野三雄	二男	康孝
青木	今井賢良	二男	博之
下飯野	新宮島敏彦	二女	真美
上野	島瀬伸一	長女	智子
上野	高田栄一	二女	陽子



住所	氏名	年齢	世帯主
舟見	宝泉まつい	77	本人
新屋	寺崎 龍夫	57	本人
舟見	木村才之助	80	本人
入膳	上田 洋子	36	本人
桐山	桜井まつあ	73	保
荒又	田又 堅次	51	本人
笹原	竹田 忠義	73	本人
横山	橋本 きさ	75	繁喜
東狐	松島初太郎	82	セツ子
青島	大角 信康	69	本人
入膳	藤沢 とめ	67	鶴
新屋	寺林とし子	68	本人
一宿	永井 直次	89	助 男
舟見	西島周太郎	87	本人
下飯野	野坂 みよ	75	祐 一
東狐	松島 チイ	73	鉄 雄
道市	泉 ヒナ	79	実
上野	盛安 テイ	77	栄 行
下山	水野 ヨキ	69	勝 寛

(9月15日受付分まで)

■写真・右／昭和39年当時の入川河口付近・左／現在の姿
提供・五十里唯雄さん
(春日・57歳)



古い写真と原稿をお寄せください

私たちの歩みを、このページに

町民のみなさんはもうご存知のことと思いますが、入善町は昭和28年10月、入善町、上原村、青木村、飯野村、小摺戸村、新屋村、櫛山村、横山村の1町7か村が合併しました。そして5年後の34年1月、野中分離地区を含む舟見町が編入合併し、現在に至っています。

あれから30年を経た昭和58年。町では、この合併30周年を祝ってさまざまな記念行事を計画しているところです。

広報係でもこれと併せて、『わがまち今昔』『30年とわたし』というテーマで、私たちの歩みを振り返ってみたいと思います。

『わがまち今昔』では、昔の写真と現在の姿を見比べます。古い写真をぜひ提供してください。

『30年とわたし』では、あなた自身の30年をつづってください。

あて先は、役場広報係(☎72-1100 内線39番)です。

私は、富山師範学校を卒業して38年間教職につき、その後、県教育委員会の仕事を7年ほどお手伝いして退職し、今は息子たちと2つの工場を経営しています。この工場の周囲は、土地改良された美田が広がり、おかげで青い海が一望できる素晴らしい環境です。しかしながら、かつてはこの家も屋敷林で囲まれていたものが、どんどん伐採され、殺風景な様相を呈しているのが、とてもわびしい限りです。

私たちの子どもの頃は、小川で鱒魚をとり、林の中できのこをとったり、木ノ根の海岸で海水浴をしたものです。こんな環境というのは、昔の子どもたちの情操教育の一つになっていたような気がしてなりません。それが無くなってしまった今、現在の子どもたちのために、学校や保育所、児童公園などにもっと緑を増やし、その中で思う存分飛び回り、自然を愛する心豊かな子どもに育ててほしいと思います。

幸い、本町には墓ノ木自然公園、園家山、沢杉などの貴重な樹林があり、子どもたちの遊び場、学習の場に役立っていることを嬉しく思っています。

今、私は入善ライオンズクラブの会長として奉仕活動に参加していますが、その目標として①緑化②青少年の健全な育成③感謝の気持ちと夢と希望を持つ——以上の3つを掲げています。さらに、本町の文化水準を高めることも考えています。

なお、本町出身者の中に多くの芸術家や学者、有能な農商工業の経営者がおられます。このかたがたを時にはお招きして、子どもたちに希望と光を与えたらどうでしょうか。

このように努力することが、21世紀を担う子どもたちに対する、私たちの今後の大きな課題であると信じております。

30年とわたし



木田武雄さん
(青木・72歳)

『環境と教育』

編集室

▼合併30周年記念にあたる10月号。「これにふさわしい記事」と考えた結果、「あなたにとって、この30年は……」というインタビュー記事に落ち着きました。

▼30年といっても、人それぞれ捕え方が違うでしょうが、「これまでの30年よりも、これからの30年をもっと良くしたい」といった気持ちがある人にも表われています。そして、商店街について述べた松原さん(入膳)の「若い衆が一致団結して」の言葉には、「これからの入善町を良くするも悪くするも、若者のヤル気次第だ。頑張ろうではないか」といった気持ちが込められています。

▼さあ、3万町民足並み揃えて、新たなスタートを切りましょう。

今月の人口			
人口	29,835 (+34)	29,764	
男	14,273 (+25)	14,235	
女	15,562 (+9)	15,529	
世帯数	7,678 (+12)	7,424	
()内は前月比		前月同月	
9月1日現在住民登録			